

科目名称：	アウトドア演習	
担当者名：	若月 博延、矢澤 建明	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>近年は、ひきこもり気味の若者が増えていると言われており、しかも自然豊かな白山市で身近に体験できるアウトドア環境を知らないということは、大変にもったいないことでもあります。学生諸君には、今後、豊かな人生を送るために体験しておいてほしい自然とのふれあいがあります。さらに、本学が立地している白山市の理解を深める狙いもあります。本授業は、この目的を達成するために、5月の週末に白山市鶴来での野外炊飯・白山手取キャニオンロードサイクリング、8月の夏季休暇中に白山登山を実施します。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>下記の「オリエンテーション」、ならびに「登山の注意」、「振り返り」以外はすべて学外で行う集中授業となります。アウトドア体験とサイクリングは5月の週末、白山登山は夏季休暇中8月に実施します。いずれも「アウトドア体験に親しみ、自らアウトドア体験を企画し、楽しむことができるようになる」ということを目標としてプログラムしています。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)		40	20	40	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	外部講師 宮下由美子：白山ガイド	16年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
サイクリング・火おこし体験に必要な費用・宿泊費などは4,500円を予定しています。また、白山登山の宿泊費・食費等で15,000円を予定しています（値上げ等で金額が変更になる場合もあります）。なお、サイクリング・火おこし体験は、5/6(金)夕方～5/7(土)を予定しています（変更になる場合もあります）。白山登山については8月下旬です（詳細未定）。

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
白山麓でアウトドアを楽しむ姿勢	自然を尊敬し、白山・白山麓の知識が豊富で他者にも説明ができる。	他者に説明はできないものの、自然を尊敬し、白山・白山麓の知識が豊富である。	自然を尊敬する態度はあるものの、白山・白山麓の知識が十分ではない。	自然を尊敬する態度がなく、白山・白山麓の知識が乏しい。
火おこしのスキルと野外炊飯	3種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	2種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	1種類の方法で火おこしができる。鉄板での調理ができる。	火おこしはできない
サイクリングのマナー	ヘルメットをかぶり、キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、すべてを守っている。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち3つができています。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち2つができています。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち1つしかできていない。
登山のマナー	帽子をかぶり、他の登山客に気を配り、登り優先、集団行動、のすべてを守っている。	他の登山客への気を配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち3つができています。	他の登山客への気を配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち2つができています。	他の登山客への気を配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち1つができています。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション。火起こし、野外炊飯、サイクリングの注意点。	このシラバスを精読しておく。	20分
第2回 アウトドア体験(グループワークでそれぞれの方法で火おこしを実施、違いを共有する)	オリエンテーションで学修した、火おこしの方法を復習しまとめておく。	30分
第3回 アウトドア体験(野外炊飯)	野外炊飯の方法を復習してまとめておく。	15分
第4回 サイクリング(白山青年の家～綿ヶ滝)	サイクリングの注意点を復習しておく。手取キャニオンロードについて事前に調べておく。	30分
第5回 サイクリング(綿ヶ滝～瀬女)	瀬女高原について事前に調べてまとめておく。	15分
第6回 サイクリング(瀬女～綿ヶ滝)	綿ヶ滝とジオパークについて事前に調べてまとめておく。	30分
第7回 サイクリング(綿ヶ滝～白山青年の家)	鳥越の歴史について調べてまとめておく。	30分
第8回 事前研修「登山の注意」	事前配付する、登山の注意点プリントを精読し、要点をまとめておく。	30分
第9回 白山登山(別当出合～甚乃助避難小屋)	「登山の注意」を復習し、まとめておく。	40分
第10回 白山登山(甚乃助避難小屋～室堂ビジターセンター)	白山の植物について復習し、まとめておく。	30分
第11回 白山登山(室堂ビジターセンター泊)	白山登山の歴史を復習しまとめておく。	30分
第12回 白山登山(山頂)	白山信仰について復習しまとめておく。	30分
第13回 白山登山(室堂ビジターセンター～甚乃助避難小屋)	下山についての注意点を復習しまとめておく。	15分
第14回 白山登山(甚乃助避難小屋～別当出合)	白山砂防について復習しまとめておく。	15分
第15回 事後研修「振り返り」	これまでのアウトドア体験について小テストを実施するためすべての復習をしてまとめておく。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
各アウトドア体験の活動状況を40%、小テストを40%、提出課題(レポート)を20%として評価する。

課題に対するフィードバック

振り返りシートにコメントをつけて返却する。

教科書・参考書

教科書は指定しない。各回プリント・課題を配付。